

す く す く 通 信 第3号

「おなかも！こころも！とちぎでいっぱいキャンペーン」に当選された皆様に、6月2日（土）に田植え体験をして頂きました、栃木県那須烏山市（JAなす南）の「田んぼ」の様子をご紹介します！（田植え後86日目の様子です）



前回は出穂（しゅっすい）についてお話ししましたが、こちらの稲は天候の影響で生育が早まったこともあり、昨年より10日程度早い8/9頃に出穂しております。

まだまだ穂は青いですが、写真のとおり稲穂が垂れ下がってきており、順調に生育しております！！



前回、「雷とお米の関係」についてお話しをしましたが、覚えているでしょうか？栃木県は日本でも有数の雷の多い県と言われております。昔は雷がお米を実らせているという信仰があったそうで、そこから稲妻（稲の妻）という言葉ができております。

実際に雷を伴った夕立のおかげで気温が下がり、おいしいお米の条件である昼夜の寒暖差が生まれます。

さらに、稲妻は植物の欠かせない3大要素の一つである窒素を空気中から田んぼに落とすことによって天然の肥料になると言われております。



今回のすくすく通信では収穫間際の稲をレポートしますので、稲穂がどのように変化するかを楽しみにしていただきね♪